



いずみこども園だより

6月号

令和8年5月29日
千代田区立いずみこども園
園長 横澤 峰紀子



いずみこども園
ホームページ
QRコード

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

伝統文化に触れる

幼児部副園長 佐藤 まゆみ

梅雨入りを前に、木々の緑がいっそう深まってきました。校庭のアジサイも鮮やかに色付き始めました。

4月に入園、進級してから2か月が経ち、どのクラスも新しい環境に慣れてきました。特にゆり組は、当番活動をはりきって行っています。毎朝玄関では、あいさつ隊の「おはようございます！」の音が響き渡っています。お休み調べは、幼児クラスの出欠の確認の仕事です。どちらも、日に日に上手になっています。

今年は、神田祭は陰の年ですが、神田和泉町会では、かげ祭りが行われました。かげ祭りに参加した子どもたちから、お神輿の様子を再現する姿が見られ、ダンボールで作ったお神輿を「ワッショイ、ワッショイ」と担いでお祭りの雰囲気を楽しんでいます。

また、『和泉橋鯉のぼりまつり』も行われ、地域の小学校や園で作成した鯉のぼりが、和泉橋の辺りの神田川を渡って飾られました。園からは、ゆり組がカラフルな鯉のぼりを作り参加しました。きっと、ご覧になられた方もいらしたことでしょう。

いずみこども園は、伝統文化を身近に感じ、触れることができる環境に恵まれています。

その一つ目は、**神田雷神太鼓**です。お神輿の出発・出陣太鼓として披露され、迫りに圧倒されます。この雷神太鼓を特色ある教育活動として、ゆり組が指導を受けています。先月、1回目が行われ、ばちの持ち方や太鼓をたたく姿勢など基本的なことを教わりました。3月には、「雷神太鼓の発表会」として、取組みの成果を披露する予定です。二つ目は、お神輿に付き添うお囃子です。毎年、年の初めの始業式の後に、神田囃子泉笑会をお招きして、鑑賞させていただいています。

このように伝統文化に実際に触れて体験できることは、素晴らしいことです。

ぜひ、引き継いでほしいと願っています。そして、伝統を守ることは、地域の町会の皆様の方があって成り立っていると、その支えの大切さを、改めて感じております。

和泉橋鯉のぼりまつりに参加した鯉のぼり

